



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida



世界に希望を生み出そう

RI会長 ゴードン R. マッキナリー

第2570地区ガバナー 高丹秀篤
第3グループガバナー補佐 齋藤栄作

希望を語ろう We are Rotary, together

第3084例会 2023. 9. 27

—— 基本的教育と識字率向上月間 ——

天候 曇 (NO. 60-13)

会長 馬場正春 幹事 神田敬文

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 本間君、秦君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 ☎ 357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 ☎ 357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 馬場会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・卓話 小川晃男会長



【会長報告】

17日、社会奉仕セミナーに同い年のトリオ(加藤委員長、SAA、私)で参加。県内の子どもの貧困の現状について説明を受けました。24日、国際奉仕セミナーに沢辺委員長、藤原会員と参加。車中、元市長の沢辺委員長からのお話はセミナー以上に勉強になりました。30日、RLIセミナーは幹事と嵐山へ行きます。

卓話、小川委員長よりしくお願い致します。私の職業分類は「看板」ですが、先日NHK「有吉のお金発見 突撃！カネオくん」でも取り上げていました。「デジタルサインージ」飛び出す看板の他、飯能茜台の「(株)サインアーテック」さんも取材されていて、大型インクジェット機から5mのカネオくんが出力されていました。今も手書きにこだわる大阪の「サインズシェウ」さんも紹介されていて、妻から「オレの方がうまいと思ってるんでしょ」と言われました。消防団の分団小屋のシャッターは私が全て書いたのですが20年も前で色が褪せています。デジタル化が出来ない部分もあり、手書きの貴重さがあると思いました。

【幹事報告】

故大野正幸会員への会葬御礼をご令妹・橋本美奈子様より頂戴。ニコニコBOXに納めさせていただきます。「文化新聞」10/3復刊。本日第2回バスト会長会議。10月のプログラム、理事会議事録、着席卓を配付。

◎例会変更のお知らせ

◇入間RC

- ・10/12(木) 例会取消(定款により)
- ・10/19(木) 入間南と合同例会「ニックス」
- ・10/26(木) 入間万燈まつり10/28・29に例会振替
- ・11/2(木) 例会取消(定款により)
- ・11/9(木) 万燈まつり反省会「ナポリのかまど」
- ・11/16(木) 通常例会「丸広バンケットルーム」
- ・11/23(木) 例会取消(定款により)
- ・11/30(木) 通常例会「丸広バンケットホール」

【委員会報告】

◎親睦活動委員会

天ヶ瀬君

11/19 親睦ゴルフコンペ(飯能グリーンCC) 8時50分集合、9時開会式。表彰式・懇親会「蜻蛉亭」(懇親会のみ参加可)。ご参加お待ちしております。

【セミナー報告】

◎社会奉仕委員会

加藤君

9/17 地区社会奉仕セミナー。年度当初会長から「3食満足に食べられない子どもが飯能にも相当数居る」と聞いて驚きました。貧困に「絶対的貧困」「相対的貧困」があり後者は3食食べられない、部活の必需品が買えない、修学旅行に行けない等あるそうです。県内の8人に1人が相対的貧困状態。来年度以降、社会奉仕活動をどうしていくかについて、10月の卓話から一年をかけて考えていきたいと思ひます。

【出席報告】無届欠席0

大野(泰)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
65名	4名	57名	87.69%

【M U】

9/17 (地区) 馬場君、加藤君、川口君

9/20 (東京芝) 前島君

9/24 (地区) 馬場君、沢辺君、藤原君

【ロータリーの友】

福島雑誌委員長

9月号: 横組P7『ロータリーの友』を裏側から探る。「編集後記」以外でこのような記事は珍しいと思ひます。P22「ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識」寄付金・財政編。縦組P4「読み書きが苦手な子どものために」発達障害のお子さんのことが分かり易く書いてあります。P21「私の一冊」植物は人間がいなくても少しも構わずに生活するが人間は植物が無くては生活の出来ぬ事である」牧野博士の言葉です。

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・今日ではよろしくお願ひします。 小川君
 ・小川先生、本日は卓話よろしくお願ひします。 土屋君、高橋君
 ・早退します。 土屋君、吉田(行)君
 本日計 15,000 円、累計額 212,501 円。
 ◎4日例会当番は原島、和泉会員です。

【卓 話】

職業分類について

飯能RC 職業分類委員長 小川晃男 会員

RCは昔から1人1業種が原則だったわけでした。何故そうなったかをお話するにはRCが始まったところまで遡る必要があるかなと思っています。

私が飯能RCに入会を許されたのが2000年8月。故石井照雄先生のご推薦で、勧誘して下さいましたので故石井道夫先生でした。石井道夫先生の職業分類は「外科医」で、私も「外科医」。1人1業種なのに何故2人入れたのか。当時「シニア・アクティブ会員」という分類があったのです。入会15年以上あるいは60歳を過ぎて入会から10年以上等の条件に当てはまる人のことで、その会員は「職業分類の保持を失う」と定款に書いてありました。石井先生がシニア・アクティブ会員になれば外科医の籍が1つ空くということで私は入会できたのだらうかと今、思っています。

RCがシカゴで誕生したのは1905年。ポール・ハリスが4人で創りました。「シカゴ・クラブの定款」には

1. 本クラブ会員の事業上の利益の増大 (1906年1月)
2. 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進

これしか書いてありません。会員がお互いに親睦を深め、会員の中での利益を増大しようというのが始まりで、「奉仕の理念」は無かったんですね。

「印刷屋の(ハリイ)ラグルスは自分の保険を保険代理店のニュートンと契約。その代わりニュートンはラグルスから文房具や用紙類を買う。2人は(シルベスタ)シールに石炭を注文し、シールは当然自分の保険と印刷を2人に頼む。ポール・ハリスはごく当たり前のこととして皆の法的な問題を喜んで引き受け汚れたシャツはアーヴィンの洗濯屋、洋服の注文は(ハイラム)ショーレーに頼む」…会員内で便利などころをお願いして、相互扶助、互惠関係のグループを作っていた。当時のシカゴ・クラブのパンフレットには「会員になることによって事業上のメリットが得られ、会員が商品あるいは原材料を購入する時に会員相互の取引をするのが義務。さらに原価で提供することが原則」と書かれていたそうです。例会へ行く紙を渡されて「次の例会に出るか」「前回から今回の例会までに何人の会員から何件の取引を受け何件に影響を与えたか」等を申告する。閉鎖的と言ったら言い過ぎかもしれませんが、最初は互惠関係がメインだったことが想像できるかと思ひます。

ある時、会員のフレデリック・トゥイドが特許弁理士のドナルド・カーターに、まだ特許弁理士が不在だったRCへの入会を勧めます。「どんなクラブか」と問われ、「入るといっばい得するよ」と(2行の)定款を見せるとカーターは入会を断ります。「この定款では会員の中だけの相互扶助しか生まれません。今日まで仕事ができ続けているのは、住んでる町、社会のお蔭だから、ある程度皆に恩返ししたい。そういうことができるクラブなら入っても良い」と言ったのだそうです。そこでトゥイドは「それだけしっかりした考えがあるなら、入会してシカゴ・クラブをそういうクラブに変えていってあげれば良いじゃないか」と言い、しばらく考えてカーターは入会します。彼の入会した翌年1907年には追加された第3条「シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民として



の誇りと忠誠心を市民の間に広める」が効力を発揮するようになります。市民にとって何らかの役に立つようなことをしようということになったのが創立から2年後のこと。さらに2年後、シカゴに公衆トイレが2か所増設されます。RCとしての社会奉仕の最初の活動でした。ポール・ハリスも元々カーターと同じような考えがあって、社会奉仕をする

団体へとだんだん動いていきます。

黎明期のそういう状況があったからこそ、きちんと1人1業種にするために「職業分類」の必要が当初からあったと考えられます。

一方で、入ると得するRCには入りたい人がたくさん居たようです。入りたくても1人1業種だと入れない人が出てきます。その圧力が年々強くなって1915年「**アディショナル正会員制度**」が採用されず。例えば、外科医の会員が許可すれば友人の外科医の入会が認められるというものです。ただし定款上「職業分類」を保持する権利は最初の会員のみで、アディショナル正会員は「保持しない」扱いでした。

余談ですが、日本で最初のRCができた時、会長は米山梅吉、幹事は福島喜三。1915年当時、三井物産の社員として綿を扱う会社の支配人をしていた喜三次さんはダラスのRCに入会して「日本人初のロータリアン」になったわけですが、その身分は「アディショナル正会員」だったそうです。

1939年には先程の「シニア・アクティブ会員制度」ができます。創立以来1人1業種をどうしても守りたかったが、現実的には同じ業種の人が入りたいという状況を排除し切れなかったということだと思います。そして1970年、シニア・アクティブ会員への自動的移行が決定。2001年の当クラブ「年度計画書」には「石井道夫:シニア・アクティブ会員」との記載があります。これ以降、各会員制度は統合され、1人1業種だったものが「5人まで」あるいは「会員数の10%まで」とRIが定款を変更します。

ロータリアンは120万人から減少傾向にあり、2003~2013年の間に米国では6万人減。日本はバブル後から減り続け、13万人から現在9万人。増強のためには1業種5人、さらに社会奉仕の理念さえもっていれば仕事をしていなくても入会を認めるという話にもなっています。RIも会員増強に必死であることが分かるデータです。

「職業分類表」はRIが作っていたのですが、各国から特殊な職業(例えば「日本刀の研磨」等)の分類の要望がたくさん出るようになって、1963(1968?)年に分類表の発行を止めてしまいます。以後、各クラブで自由に作ることにになり現在に至っているということなので、委員長の私の裁量で新しい分類をいくらかも作っていいよということらしいです。

一方で1業種1人の原則は昔からロータリアンの頭の片隅に常にあって、その原則を守るためなら職業を作ってしまうという考えもありました。第2680地区(兵庫県)の分厚い「職業分類表」には医者だけでなく内科、血液内科、心療内科、等、20種以上。これだけ分類があれば減多なことでは2人にならないだろうという感じですね。建設業はアスファルト、埋立、開発、橋梁、建設請負、建築設計…。2013年の規定審議会では、職業をもたなくても何らかの社会奉仕活動をされている方なら入会できるように変わりました。RIも年々変化しています。

最後に、私が「外科医」であることを信用していない皆様、30数年前の手術の映像をお見せします。「腹腔鏡下胆嚢摘出術」は1989年頃、フランスで初めて行われ2年後位に日本に技術が入ってきました。群馬県で10数例目、4施設目の手術でした。